



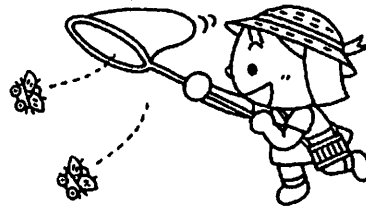
Vol. 31

虫刺されについて

虫刺されによって起きる症状は、「痛み」と「かゆみ」に大きく分けられます。

- 虫が皮膚を刺したことによる痛みや、虫の唾液や毒成分へのアレルギー反応による痛み、かゆみが主な症状で、このアレルギー反応は個人差が大きく症状の現れ方も違います。
- 虫に刺されると、大人はすぐに小さな発疹ができてかゆくなりますが、子供は1〜2日後に赤く腫れてかゆみが出ます。子供の場合、かきむしってしまわないように注意が必要です。かきむしった傷口から細菌が感染して、とびひになってしまう場合があります。

- ① 直径1cm以上腫れている
- ② 痛みやかゆみがある
- ③ まぶたを刺された
- ④ かきこわしてジクジクしている
- ⑤ 虫に刺された部位がえぐれた



など、気になる症状があるときは皮膚科で診てもらいましょう。

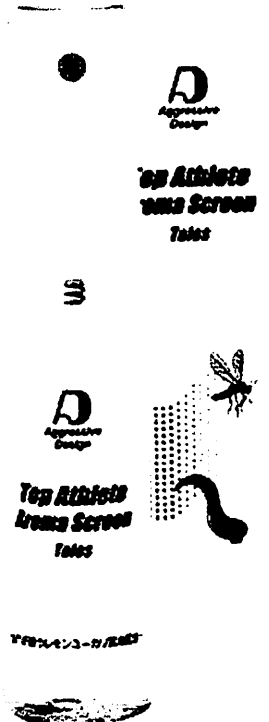
虫刺されを予防するにはまず、原因となる虫を肌に着せつけないことが大切です。屋内では、目的に応じて殺虫剤を使用するほか、野外活動では肌の露出を少なくし、虫よけスプレーを使うことも有効です。

なお、虫除け剤(忌避剤)の代表であるディートには、小児に対する使用上の注意として、

- 顔には使用しないこと
- 生後6ヶ月未満の乳児には使用しないこと
- 2歳未満の幼児では1日1回、2歳以上12歳未満の小児では1日1〜3回の使用にとどめること

などがありますので、必要に応じて適切に使って下さい。

高岸小児科にてディート無配合の虫よけスプレーを販売しています。



福岡市病児・病後児デイケア事業実施施設
病児保育室ぐうぐう
〒812-0879 福岡市博多区銀天町 1-2-11

空メール送信でメールアドレスを登録してください
googoo@hoiku.net489.jp



バックナンバーはホームページでご覧になれます
<http://www.takagishi-googoo.com/>